

CONTENTS

6月定例会・議案を審議

■第1回臨時会を開催 2~3

議長・副議長を選出

委員会構成などを決定

■第2回定例会を開催 4~8

特別委員会を設置

■一般質問 9~17

8人が登壇・町長に見解を求める

■元気なグループ紹介 18

「香川馬酔木・花鶏の会」会長 岡 汀子

三木町 議会だより



大きく育つかな！

平井小3年生が 田植え体験



カナダの児童も参加



みき

No.168

2019.7月

議長に桑井明人氏、副議長に脇博文氏を 選出し、各委員会構成を決定

就任のごあいさつ



第41代 桑井 明人議長

令和元年第1回三木町議会臨時会において議長に就任いたしました。

現在、少子化・超高齢化による人口減少など、地方自治体を取りまく環境は大変厳しい状況下にあります。

令和の時を迎え、三木町では第五次三木町振興計画を作成し「福祉」「防災」「活力ある町づくり」など、地方創生に向け行政と議会が一丸となってさらに取組みを進めていく大切な時であります。三木町の魅力を活かし、少子高齢化・人口減少などの課題を克服し、人々が支えあい助け合う安全・安心な町、「三木町に住んでよかった」と思っても



第42代 脇 博文副議長

らえる町づくりが大切と考えます。議長として、議会と地域住民に向き合いながら様々な課題に取り組んでまいります。町民の皆様には、引き続き温かいご支援をいただきますよう切にお願い申し上げます。結びに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、議長就任のご挨拶といたします。

このたび、議員各位の温かいご推挙を賜り、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その責任の重さを痛感しております。自治体間競争がますます激化する中、三木

町がこの難局を乗り切り、魅力ある町であり続けるためには、全議員が一丸となって諸課題の解決に取り組む事が大切です。議長を支え、全議員の英知を結集し、三木町のさらなる発展のために粉砕努力してまいります。町民の皆様には、一層のご指導・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶とさせていただきます。



▲前列左から、渡辺副委員長・小島委員長・脇委員 後列左から、市原委員・友保委員・安部委員・岡委員・安西委員・中川委員・森本委員

議会広報編集委員会
新メンバーで
がんばります

常任委員会

◎委員長
○副委員長

総務建設

町有財産の管理、処分、道路、上下水道、農業振興、土地改良事業に関する事項等



◎富田 修司



○市原 信夫



古市 弘



脇 博文



鈴木 宏明



安部 正雄



森本 晃司



岡 昌吾

教育民生

教育、生活環境、保健、福祉に関する事項等



◎渡辺 達実



○中川 和樹



筒井 米市



衆井 明人



西丸 一明



小島 重俊



安西 進



友保 陽子

特別委員会など

議会運営

議会の運営に関する事項

◎小島 重俊
○岡 昌吾

渡辺 達実
富田 修司
市原 信夫
中川 和樹

学校施設等整備

学校施設等の整備方針、施設整備、教育環境に関する事項

◎中川 和樹
◎森本 晃司

衆井 明人
西丸 一明
渡辺 達実
小島 重俊
安西 進
友保 陽子

議会選出 監査委員

富田 修司

総合防災対策

防災体制の強化、危機管理対策に関する事項

◎安部 正雄
○岡 昌吾

筒井 米市
古市 弘
富田 修司
脇 博文
鈴木 宏明
市原 信夫

広報編集

議会だより発行

◎小島 重俊
◎渡辺 達実

脇 博文
市原 信夫
安部 正雄
森本 晃司
中川 和樹
安西 進
友保 陽子
岡 昌吾



▲児童発達支援センターとなる旧平井幼稚園池戸分園

6月 定例会

旧平井幼稚園池戸分園が

児童発達支援センターに

防災行政無線のデジタル化整備がスタート

令和元年第2回定例会は、6月5日から13日までの9日間の会期で開催された。

消費税増税等に伴う一般会計補正予算、防災行政無線デジタル化整備工事、消防ポンプ自動車の購入（下高岡）などに加え、議員発議の特別委員会設置に係る

案件を可決した。また、土地開発公社の経営状況を承認した。

町長行政報告では、旧平井幼稚園池戸分園跡地を、児童発達支援センターとすることを条件に、一般競争入札を行った結果、医療法人社団讃陽堂松原病院が落札したことが報告された。一般質問

では8名が登壇し、町長の政治姿勢や教育行政、まちづくり対策、福祉政策等をたどした。

4月の統一地方選挙を経て初めてとなる定例会。新議員7名が事前に学習会を開催して質疑に臨むなど、二元代表制の町議会として新たに出発した。

令和元年度一般会計補正予算(第1号)の主な内容

遊び場づくり事業	1,695万8千円
プレミアム付き商品券事業費	1億5,820万円
防災重点ため池対策事業	370万円
公益土地改良事業	270万円

一般会計補正予算(第2回定例会)

当初予算	101億7,000万円
補正額	1億9,055万1千円
補正後の金額	103億6,055万1千円



議案を審議

初 議 会

統一地方選挙後の議会構成を整えるため、5月15日から16日にかけて、令和元年第1回臨時会を開会した。

ここでは、議長及び副議長の選挙、各常任委員の選任と委員長・副委員長の選出等を行った。

議案審議は、工事請負変更契約の専決処分1件の報告があり、繰越明許費に係る報告3件を全会一致で承認した。また、国の法律改正に伴う3件の条例改正を審議した。

○議長選挙結果

糸井 明人…10票
西丸 一明…6票

○副議長選挙結果

富田 修司…8票
脇 博文…8票

同票のためくじ引きの結果
脇 博文

① 税条例の一部改正(消費税率引上げに伴う暫定措置)

○ 住民税に係る住宅ローン控除の3年間延長。

○ 軽自動車取得に係る環境性能割税率を1年間に限り1%軽減。

○ 軽自動車税のグリーン化特例の適用対象を電気自動車に限定。(令和3年4月以後の新車登録)

② 国民健康保険税条例の一部改正

○ 医療給付費等分に係る課税限度額の引上げ。(58万円から61万円)

○ 低所得者に対する軽減措置の拡充。(5割軽減基準額を5千円引上げ28万円、2割を1万円引上げ51万円)

問 渡辺議員

医療給付費等分に係る課税限度額引上げの対象となる人数と金額、対応策等を示せ。

答 税務課長

医療給付費限度額超過世帯が34世帯から27世帯に減少し、

税が約90万円の増額となる。

答 町長

国の保険制度全体に及ぶ課題であり、負担軽減への要望を行っていききたい。

③ 介護保険条例の一部改正

(消費税率引上げに伴う低所得者の保険料軽減強化)

○ 所得第1段階

生活保護の受給者、世帯全員が住民税非課税で本人が老齢福祉年金の受給者・本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の場合、年間保険料を3,750円とする。(11,250円の軽減)

○ 所得第2段階

世帯全員が住民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超・120万円以下の場合、56,250円とする。(11,250円の軽減)

○ 所得第3段階

世帯全員が住民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万

円超の場合、65,250円とする。(2,250円の軽減)

消費税率引上げに伴う条例改正については、延期となった場合の対応(改めるの条例改正)を確認しつつ、3件の議案を可決した。

6月定例会

工事請負契約の締結

三木町防災行政無線デジタル化整備工事入札 四電エンジニアリング株式会社落札
(7億7,550万円)

問 西丸議員

防災行政無線について、当初予算(2億3千万円)との関係や工事概要を一式としている理由を示せ。

答 総務課長

本年の第1回定例会(3月議会)で6億7,500万円の債務負担行為の議決を行っており、全対予算約9億円での執行である。

また、工事概要は口頭報告で補足説明したところであり、提出資料を簡素化するために一式とした。

財産の取得

消防ポンプ自動車の入札
株式会社 福島商会落札
(2,484万円)

三木町消防団第5分団(下高岡)消防車の老朽化に伴う更新。

総務建設常任委員会

6月6日

非常勤の特別職の報酬及び費用弁償に関する条例一部改正

問 鈴木委員

報酬等に金額差があるのは。

答 町長

職責に応じた金額として、そのため、同額にしていない。

問 鈴木委員

国の指示で改正するのか。

答 総務課長

国の規定に準じたうえで、

町独自の判断で改正する。

三木町森林整備促進基金条例の制定

問 市原委員

イノシシ対策にも使えるのか。

答 産業振興課長

森林の保全を目的としており、樹皮を食べる、「鹿」対策などは可能と考える。

なお、使途については、森林組合や有識者からも意見を求める。

また、工事請負変更契約の専決処分1件(地元協議による計画変更で3,753千円増額)の報告を受けた。

土地開発公社の経営状況報告

① ふるさとピア尾崎団地分譲事業

平成30年度は、保有土地の貸付けによる賃料を得るとともに、除草等の維持管理を行った。

② 新開地区まちづくり事業

「まんで願いきいきパーク(仮称)」

整備予定地であり、保有地を三木町に売却した。



▲ふるさとピア尾崎団地分譲地

③ 三木東地区浄化センター(仮称)用地取得事業

浄化センター西側の公園整備地であり、保有地を三木町に売却した。

④ 町道砂入荒木線用地取得事業

交渉を継続しているものの、平成30年度での用地買収実績はない。

また、令和元年度の事業計画は2事業となったが、町道砂入荒木線用地取得事業で計画残地約1,300㎡の早期買収・事業完成をめざすとされ、経営状況報告を承認した。

一般会計補正予算

主な内容は、

① プレミアム付き商品券事業

消費税率引上げに伴う新規事業として、1億5,820万円を追加。



▲プレミアム商品券のチラシ

② 遊び場づくり事業

「まんで願いきいきパーク(仮称)」の整備を予定していた土地に遊具整備工事等で約1,700万円を追加。



▲町道砂入荒木線

③ 幼児教育・保育の無償化事業
消費税率引上げに伴う新規事業として、民生費・教育費でのシステム改修費約350万円を追加。

④ 単独県費補助土地改良事業
土地改良事業に係る町負担率10%を30%に上げるため、270万円を追加。

⑤ 森林整備促進基金費
森林環境譲与税の創設に伴う基金積立金200万円を追加。

その他、財源補正を含めた15事業、総額約1億9千万円の補正予算を審議・可決した。

特別委員会の設置

令和元年第1回臨時会で保留となった特別委員会設置議案が発議され、議会閉会中の調査を可能とした。

① 学校施設等整備特別委員会
(委員8名)

本町の学校施設は、建築後40

年以上経っており、老朽化への対応策の検討が必要となっている。特に、現在の衛生管理基準を満たす学校給食施設への改修が急がれており、当局の検討委員会審議も進む中、町議会としての調査研究が必要。

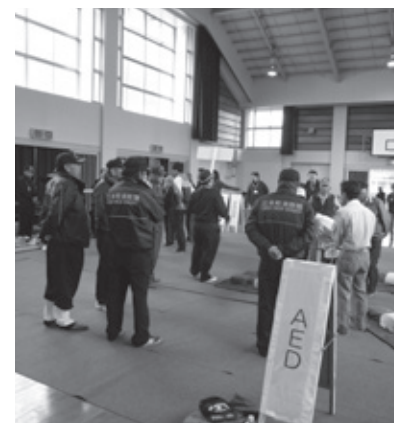


▲白山小学校給食調理場

② 総合防災対策特別委員会
(委員8名)

全国各地で発生している大規模災害は、南海トラフ地震も今後30年以内の発生確率が70〜80%となっているなど、まさに間近に迫っている。

令和2年度完成予定の防災行政無線システム・デジタル化事業の進捗を含め、避難所運営や防災訓練など、自主防災組織の活動強化が求められる中、町議会としての調査研究が必要。



▲防災訓練

陳情・請願の行方

本議会での審査案件として、紹介議員渡辺達実の請願書1件と3件の陳情書を受け付けた。

国に対し「消費税10%中止を求める意見書」の提出を求める請願

新日本婦人の会 三木班

班長 陸浦 篤子

紹介議員 渡辺達実

議会運営委員会の審議を経て、

請願書は本会議で渡辺達実議員から、「町民の多くも消費税10%中止を求めている」とした補足説明を受け、総務建設常任委員会に付託。

郵送されてきた陳情書3件は、自らの学習を要請しつつ、議員配布とした。

請願・陳情について

令和元年請願1号(令和元年5月28日受付)

国に対し「消費税10%中止を求める意見書」の提出を求める請願 新日本婦人の会 三木班 班長 陸浦 篤子

委員会
付託

令和元年陳情(平成31年3月28日受付)(令和元年5月20日受付)

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

「新しい提案」実行委員会 安里 長従・全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之

議員へ
配布

令和元年陳情(令和元年5月28日受付)

日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情

一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 寛

議員へ
配布

令和元年第1回臨時会及び第2回定例会 提出議案への各議員賛否表

○賛成 ●反対 一議長 欠(欠席)

議案番号・議案名		採決	岡昌吾	友保陽子	安西進	中川和樹	森本晃司	安部正雄	市原信夫	鈴木宏明	小島重俊	脇博文	富田修司	渡辺達実	西丸一明	糸井明人	古市弘	筒井米市
第1回臨時会																		
議案第1号	専決処分の承認 (三木町税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	専決処分の承認 (三木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	専決処分の承認 (三木町介護保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回定例会																		
議案第1号	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	非常勤の特別職の報酬及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	三木町森林整備促進基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和元年度三木町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	三木町土地開発公社の経営状況を説明する 書類の提出	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	特別委員会の設置(学校施設等整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	特別委員会の設置(総合防災対策)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

筒井米市	古市弘	糸井明人	西丸一明	渡辺達実	富田修司	脇博文	小島重俊	鈴木宏明	市原信夫	安部正雄	森本晃司	中川和樹	安西進	友保陽子	岡昌吾	議員氏名	○は出席 ●は半欠 ×は欠席	第1回臨時会(5月)	第2回定例会(6月)	議員出欠表
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/15	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/16	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/11	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13	○	○	○	○

一般質問

ここが聞きたい!

町政を問う

8人が質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。



1人60分の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
詳しい内容については、インターネット中継をご覧ください。

質問者	質問事項	ページ
脇 博文	1 消防の「まとい」を玄関に展示しては 2 女性消防団員の募集は 3 ゲーム依存予防、外での遊び場は	10
渡 辺 達 実	1 交通安全対策のあり方は 2 平井幼稚園池戸分園跡地の処分状況は 3 教育行政の充実は	11
市 原 信 夫	1 可動堰(かどうぜき)の検討委員会設置は 2 まちづくり協議会の現状と課題は 3 史蹟を活かした観光創生は	12
安 部 正 雄	1 新たな発想による事業施策の展開は 2 防災減災対策は 3 耕作放棄地と地域の安心安全確保は	13
岡 昌 吾	1 南海トラフ地震に関する臨時情報の対応は 2 自主防災倉庫の管理は	14
小 島 重 俊	1 生活困窮者対策は 2 地域おこし協力隊員制度は 3 会計年度任用職員制度は	15
友 保 陽 子	1 まんで願いきいきパーク(仮称)予定地利用は 2 まんでがんほたるホーム閉鎖は 3 要介護高齢者紙おむつ給付事業は	16
鈴 木 宏 明	1 スポーツ少年団の補助金は 2 庁舎内においての新聞の購買は	17

問 消防の「まとい」を 役場玄関に展示しては

答 本年から一定期間、
1階受付付近に展示した



脇 博文 議員

問 三木町消防団は6年前に日本消防協会より「まとい」を受章した。町民の方々にご覧いただけるよう、定期的に役場玄関へ展示しては。

答 総務課長

本年から出初式の後、一定期間、役場1階受付付近で展示し、住民の方にご覧いただいた。



▲受章した「まとい」

問 二輪車の機動力が十分に発揮され、消化活動に大いに役立つバイクの活用は。

答 総務課長

消火機材の補給や情報伝達の手段として有効である。様々な課題があるので、今後、調査・研究する。

問 女性消防団員の募集は。

答 総務課長

きめ細かな視点を活かした、女

性ならではの活動が期待される一方、男性と体力などに差があり、他の自治体における女性消防団の活動状況を調査・研究する。

問 人口減少の為、三木町消防団、70歳定年規則の見直しは。

答 総務課長

新規消防団員の確保に努める。定年を過ぎてお願いする場合、活動内容に十分配慮し公務災害防止に努める。

選挙費用の低減策

問 議会議員選挙ポスター掲示場の供用は。

答 総務課長

今後の統一地方選挙に係るポスター掲示場の制作・設置は、他市町の状況を調査・研究し、香川県選挙管理委員会と検討する。

観光施策の強化

問 瀬戸内国際芸術祭の来場者を呼び込む取組みは。

答 産業振興課長

会場を結ぶフェリー内や高松空港に三木町PRパンフレットや特産品を展示。県内観光地を巡るスタンプラリーに参加した。

ゲーム依存症対策

問 ゲーム依存予防、外での遊び場は。

答 町長

家族と外遊びが可能な「公園マップ」を平成29年3月に配布。本年4月に人工芝グラウンドやバスケットゴールを開設。まんで願いきいきパーク(仮称)計画地に公園を整備予定。



▲4月「池戸多目的広場」開設



渡辺 達実議員

問 交通安全対策の あり方を問う

答 有効な安全対策を現地に 則した形で実施していく



▲池戸交差点

問 悲惨な交通事故が絶えない。対策が必要である。どのような状況か。

答 町長

全国で悲惨な交通事故が相次いでいる。交通安全対策は、歩行者の安全な通行の確保のため、通学路の危険個所の改良、生活道路の危険個所の把握に努め、警察など関係団体と協議し、有効な対策を実施していく。
保育所や学校、高齢者を対象にした交通安全教室を開催し、安全教育を実施している。

答 土木建設課長

氷上小学校区で時速30キロの速度規制「ゾーン30」、白山小学校区で路肩部分にグリーンベルト舗装の施工を行ってきた。
本年度は平井小学校区で施工を予定している。誰もが安全で、快適に利用できる道路環境づくりをめざしていく。

太陽光発電の設置状況は

問 太陽光発電の設置が進んでいる。環境面での配慮など、設置に伴う指導の状況を問う。

答 環境保全課長

再生可能エネルギーに関する特別措置法や事業計画策定ガイドラインに基づいた設置が図られている。

香川県では、4月から「県設置ガイドライン」を策定し、事業計画の提出を求めている。町としては、事前協議の中で地域住民への説明や配慮すべき内容について指導を行っていく。

平井幼稚園池戸分園跡地の処分状況は

問 跡地についての活用方法を問う。

答 総務課長

児童発達支援センターの用途に供することを条件に売却し、一般競争入札を行い、医療法人社団讃陽堂松原病院が2,000万円で落札した。

答 健康福祉課長

児童発達支援センターは、通所サービスや相談支援、訪問支援などを行う療育支援施設としての役割を果たすもの。

教育行政の充実を

問 私学高校生への支援を求める。子育て世帯の経済的な負担は大きい。奨学金制度の検討はできないか。

答 教育長

経済的負担の軽減を図る制度として、高等学校就学支援金事業や香川県私立学校授業料軽減補助事業がある。町には無利子の育英資金貸与の制度がある。今後は、育英資金の周知を徹底するなど、必要とする方に支援が行き届くよう努めていく。

問 新川の可動堰管理の 検討委員会を設置すべき

答 現状把握に努めて、
関係団体等の意見を伺いたい



市原 信夫 議員

問

県は平成23年度、大規模洪水に対処するため新川水系河川整備計画を策定。従来の固定堰を、増水すると倒れる可動堰に変える工事を進めているが、堰を管理している地元水利組合は、高齢化と後継者不足から、人的・資金的に堰の管理が厳しくなっている。

早急に関係者を交えた検討委員会を設置すべき。



▲可動堰(かどうぜき)

答

産業振興課長

農業の担い手不足は深刻化しており、多くの水利組合が施設の管理に苦慮している話は伺っている。町内の農業用施設の維持管理の在り方についても、他県や県内の現状と課題の把握に努め、国の法改正、

県の施策動向など広く情報収集しながら検討したい。

また、新川吉田川沿岸排水対策促進期成会にも問題提起し、併せて県や土地改良連合会等を通じて国への要望を行いたい。

田中地区でスタートした
「まちづくり協議会」は

問

三木町におけるまちづくり協議会は、東日本大震災が起きた平成23年、「百眼百考会議」の仲間作り部会で、提案書をまとめた。

提案では、住民間の連帯意識が薄れている今日、各種団体を結び付けるイベント等を行うことで、高齢化社会での助け合い、災害時の相互扶助の組織づくりをめざしている。

現状と課題、今後、町内の他地区に広げる取組みは。

答 町長

平成29年9月に設立された田中地区まちづくり協議会は、ふれあい青空市、いも煮会、田中やまあるきなどを開

催、盛り上がりを見せている。

課題として、より多くの住民の参画と高い意識のまま活動を維持する難しさも感じている。持続可能な組織や支援の方法を見極め、町全体に広げていくことで地域コミュニティの再生と活性化に繋げたい。

観光創生は

問

これからは、住民が地域の魅力を再発見し、それを世界に発信する時代になっている。

今後、町民リポーターなどを活用し、住民参加型の観光誘致を検討すべきでは。

答 産業振興課長

近年、スマートフォンが普及し、SNSを活用した情報発信が盛んに行われるようになり、自治体にも、時代の流れに乗った取組みが求められている。従来の観光施設はもとより、様々な史跡の活用、魅力あふれる風景など、住民が愛着と誇りをもてるような新たな観光創生、情報発信に努めたい。



安部 正雄 議員

問 防災・減災に対する 住民意識を高める対策は

答 「自らの命は自らが守る」
という意識醸成に努める

問 本町の自主防災組織率は高いが、家具転倒防止策や備蓄資材の現況を見ると、住民の防災・減災意識が、十分に醸成されていないのではないか。

答 町長

大規模な災害に備える防災・減災対策は、町が取り組むべき優先課題である。被害を最小限にとどめるためには、地域の防災力を高めることが重要である。

国の中央防災会議でも、今後「住民主体の防災対策に転換」して、住民が「自らの命は自らが守る」意識を持つことを重視している。

今後も、自主防災組織の活性化や、防災意識を高めることに注力し、自助・共助の意識醸成に努める。

問 町が備蓄する防災備蓄資材の数量が少ないと思われるが、現数量で被災時に町民の安全が確保できるのか。

答 総務課長

現在、香川県地域防災計画に

示す必要量を備蓄している。飲料水や主食は県の備蓄マニュアルに定められた量の2倍を備蓄している。民間協定による「流通備蓄」にも取り組んでいる。

ただ、すべての避難者を賄えないことから、今後あらゆる機会を通じて各家庭での備蓄の必要性を周知・啓発していく。



▲まんでがん防災トレーニング

政治姿勢

問 誰もが誇りを持ち住みたい三木町の実現に向け、これからを担う若い住民のために、本町独自の新たな発想での事業展開を図るべき。

答 町長

やさしさと元気溢れる三木町

を実現させるために、直面する多くの課題に取り組んでいる。ただ、人口減少や少子高齢化の進展など社会が厳しさを増す状況の中、健全な財政運営を確保していくことが重要となる。

今後も、町民が夢や希望を持って安心して暮らせる町を創るための施策や事業を展開していきたい。

耕作放棄地の解消

問 耕作放棄地は、地域の安心安全と密接に関連していることから、町も主体的にその解消に取り組むべき。

答 産業振興課長

全国的な課題となっている耕作放棄地は、本町でも増加傾向で平成30年度末16・7haが確認されている。雑草の繁茂、害虫発生など近隣の居住環境にも悪影響を与えている。対策として、農地パトロールや所有者への意向調査等と共に、担い手への農地利用の集積につなげる耕作放棄地解消モデル事業も実施している。

問 災害に対する 臨時情報の対応は

答 注意喚起、必要な情報の 提供に努める



岡 昌吾 議員

問

南海トラフ地震に関連する臨時情報が発表された際、実際には、法的な拘束力も無く、いつ起きるかわからない巨大地震に対して、事前避難をするか、しないかは、地方自治体に決断を迫られることになる中、その判断が大変重要になる。

三木町においては、どのような判断で対応するのか。

答 総務課長

本町においては、仮に、臨時情報が発表された場合においても、直ちに、住民の日常生活に支障が出るものでないと考えているが、発表があった場合には、地震発生に備えた行動をとるよう注意喚起を行うとともに、必要な情報の提供に努める。

自主防災倉庫の管理は

問

自主防災倉庫の管理や機材のメンテナンス等は、消防団が実施している。

しかし、災害発生時に鍵を

管理しているのは、消防団・施設管理者・総務課と3つしかなく、防災倉庫を使う際に、鍵が開かないという問題が発生する恐れがある。

鍵の管理者を一番近い近所の方や、自主防災関係者などに預け、より早く防災倉庫が活躍できるようにするべきではないか。

答 総務課長

大規模災害の教訓から、行政自らも被災し、直ちに災害対応に着手出来ないといった事態も想定しておく必要があることから、今後は、防災倉庫に近接する、施設の夜間管理人など施設の近くに住まわれている方に、防災倉庫の鍵の管理を依頼し、迅速かつ確実に防災倉庫内の資機材を使用できるように、管理体制を検討していく。



▲防災倉庫



▲防災倉庫 備品



小島 重俊 議員

問 本町における生活困窮者の 実態把握を行っているか

答 労働者の年収を年齢別に 分類した統計資料はない

問 年収200万円以下の労働者を生活困窮者と仮定して、年齢別に100万円まで、100万円から200万円まで等とする統計は。

また、生活保護世帯の推移や平成27年度の臨時福祉給付金の支給対象者の人数等を示せ。

答 住民生活課長

本町での統計資料はないが、全国的には非正規雇用やひとり親家庭、生活保護世帯に多いと考えられている。

生活保護世帯は、本年4月現在135世帯・174人で、前年より9世帯・17人減少しているが、ほぼ横ばいの状態が続いている。

高齢者向け臨時福祉給付金は、平成26年4月の消費税率引き上げの影響緩和策として、住民税非課税者など所得の少ない方に対する措置として実施されたが、3,297人が対象者・申請者は3,176人、不支給者1人となっている。

問 臨時福祉給付金の支給割合は、本町の65歳以上人口に対し38%にもなっており、生活困窮者対策を基本政策に入れるべき。

答 町長

経済情勢の変化により、生活困窮者の増加、ひきこもり、虐待、自殺等が深刻な社会問題となっている。

本町では、訪問や相談活動を通じて生活支援に取り組んでおり、総合的な地域福祉サービスの展開から、誰からも「住んでよかった」と言われる町をめざしていく。

地域おこし協力隊員制度

問 地域資源を活用した「町おこし」策を国が推奨・支援している。本町での制度活用の現状と今後の対応策は。

答 政策課長

平成21年度に国が始めた制度であり、最大3年間の任期で都市地域の居住者を対象に「地域おこし協力隊員」として委嘱し、400万円を上限に

特別交付税が措置される。昨年6月時点で、県を含め10市町で31人の隊員が活動しているが、本町では活用しておらず、今後、調査研究する。



▲田中まちづくり協議会 青空市

会計年度任用職員制度

問 現在の検討状況を可能な範囲で示せ。

答 副町長

来年度からの導入に向け、業務の内容や責任の程度、待遇のバランス、町の財政状況など、慎重に検討を進めている。なお、処遇改善に必要な財源措置を国に求めている。

問 まんで願いきいきパーク 予定地に子どもの遊び場を

答 今年度末までに整備する



友保 陽子 議員

問 まんで願いきいきパーク(仮称)予定地について、現在休止の状態だが、子育て世代にとっては子どもが遊べるスペースの誕生を心待ちにしている。今後、子どもの遊び場は確保できるか。

答 町長

計画を見直し中だが、子育て世帯の新しい「遊び場」への期待の高さは承知している。安心して利用できる遊び場を今年度末までに整備するため、本定例会でその事業費を盛り込んだ補正予算を提出した。用地の活用は、公園機能の充実と併せ、多くの町民の期待に応えられるよう引き続き検討を進める。

まんでがんほたるホームの閉鎖は

問 周知が今年1月を過ぎてからだったため、保育所の児童募集に間に合わなかったという声を聞いた。時期は妥当だったか。また、ふれあいホームと統合になり、預かり定員・時間とも

に減少している。今後の対策は。

答 まんでがん子ども課長

本年4月からの一時預かり事業の統合は、同様の事業趣旨である「まんでがんふれあいホーム」と統合し、効率的な運用で生み出される保育士を保育所に配置転換することで、1人でも多くの児童を受入れることを目的としたが、さまざまな調整を行ったことから、利用者への周知時期は2月からとなった。

利用者の影響を最小限にするため、統合先の「まんでがんふれあいホーム」に利用変更される方に対し、条件変更について丁寧に説明し、理解を得られるよう取り組んでいく。

紙おむつ給付事業は

問 現在本町が行っている、要介護高齢者紙おむつ給付事業は、紙おむつ支給に限定される。他市町が行っているような、おむつクーポンを交付する制度なら、紙おむつ以外で介護に必

要な物が購入できる。本町でも検討できないか。

答 健康福祉課長

高齢者の介護を必要とする方、また、介護をされている方を取り巻く環境については、日々めまぐるしい変化をしている。

ご指摘の紙おむつ以外の介護消耗品を得られるクーポン券の導入を含め、より効果的な介護サービスを提供できるよう努めていく。



▲まんでがんふれあいホーム



鈴木 宏明議員

問 スポーツ少年団に対する 補助金増額は

答 スポーツ少年団の本部役員とも 十分に協議・検討したい

本町のスポーツ少年団は、青少年のスポーツ振興と健全育成を目的として、（昨年度実績）15の単位団に、約340人の子どもたちが登録している。これまで、指導者や保護者の皆様のご努力で、多くの子どもたちが、スポーツ活動に取り組み数多くの成果を挙げてきたが、近年、少子化問題など社会環境の変化により団員数は減少傾向にある。このような中、スポーツ少年団の活動は、発育期の子どもたちが、スポー

答 生涯学習課長

スポーツ少年団は、三木町の顔であり、強くなれば、三木中が強くなる。最近では、野球とかバスケットボールで有名な選手を輩出して、第二・第三の続く選手を作ろうと、一生懸命頑張っている。いい選手が出た時だけ、三木町出身と言うのではなく、スポーツ少年団の時から、スポーツをする子どもたちの負担を三木町全体でバックアップすると言う形を作るべきではないか。補助金の増額は。

問 各課の課長、及び課長補佐の所に政党の新聞を、議員バッジを付けた者が売りに行っている。また、集金も庁舎内で行っている。地方公務員は、政治に関与してはならないという決まりがあるが、町長としては、どう考えているか。

庁舎内においての新聞の 購買は



▲三木スポーツ少年団

ツを通して体力や技能を向上させるとともに、社会性の育成、チャレンジ精神や向上心の喚起など身体的、精神的に大変重要な役割を果たしている。補助金の増額は、本部役員とも十分に協議・検討したい。

答 町長

庁舎内で一部の職員が政党機関紙を個人的に私費で購買している。地方公務員法において制限されている政治的行為とは、一般職の公務員がその地位を利用して、部下に対して特定政党の支持を呼びかける行為、政党の構成員に勧誘したりする行為や、選挙において特定の候補者を支持し、投票を勧誘するためのビラを一般に配布するなどの行為をさすものとされている。

個人的に政党機関紙を購読する行為は、それには該当しないと判断している。

問 個人的に家でするものについては何も言う権利はない。

私が言っているのは、庁舎内がダメだと言っているのである。

答 町長

難しい問題なので、また、考えさせて頂く。

元気なグループ紹介

「香川馬酔木・花鶏の会」会長岡 汀子

俳句と私

私と俳句との出会いは私が生まれた時からかも知れない。私の母は私が生まれる前から俳句を嗜んでいたから…。

「汀子」の名前も母の好きな女流俳人「中村汀女」から名付けたと幼き時より聞かされてきた。

だからだろうか、何時も身近にあった俳句を今は自分のライフワークと思い、皆様と俳句を楽しませていただいている。

三木町での俳句会は「三木句会」と「七夕句会」、池戸商工センターで開いている。

会員は年齢も経歴も皆それぞれである。

孫を詠む人、夫を詠む人、又旅の「コマ」を詠む人、日常の何気ない情景を詠む人もいる。

昨日綺麗な夕日を見た

んだけどそれを一句にした

い…とても嬉しい事があつ

たのでそれを子供たちに

俳句で残したい…又ある

人は亡くなった主人を偲

びながら主人を追慕し

ている方もいらっしゃる。

十人十色と言われるよ

うに人の感じ方はそれぞ

れで違つ、みんな違つてみ

んないではないけれど、

同じ景色を見ても同じ俳

句は生まれない。

だからこそ俳句は面白

いのだと思う。

私は「俳句は自分史」だ

と思つている。

人間生まれた時から自分

の人生を生きている、その

歴史の重みを句に出来れば

いいと、そのお手伝いが出

来ればいいと考えている。

貴方の心のつばやきを

一句にしてみませんか。



三木句会

【開催日】第1土曜日

【時 間】9時～12時

【場 所】池戸商工センター

七夕句会

【開催日】第2第4木曜日

【時 間】16時30分～

18時30分

【場 所】池戸商工センター

お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人です。

●お問い合わせは議会事務局へ ☎ (087) 891-3311

次の定例会は、9月上旬の予定です。



編集を

終えて



昔、昔、あるところにおじいさんとおばあさんがいました…は、おとぎ話の常套句だが、今は「あるところ」ではなく、「至るところ」お年寄りのいる時代になった。

少子高齢化は、深刻さを増している。地方自治体でも社会保障費が増え、自由に使える「裁量的経費」は、一般会計予算100億円余のうちの1割程度である。

「若者が戻って来る町」「身の丈にあった行政」——伊藤町長のスローガンも、言うはたやすく、実行はむづかしい。課題山積の「令和」の新時代、三木町議会も新人が増えた。新旧議員協力し合いながら、執行部の舵取りを見守り、住民の声を町政に反映して行きたい。

(市原 信夫)